

図書館報

73号

平成16年9月30日発行

目次

巻頭言	2
法人化後の附属図書館について	3
検索マニュアル (NACSIS-IR)	5
(朝日新聞「聞蔵」)	9
情報リテラシー教育に向かって一旭川館の取り組み	13
各館からのお知らせ	14
図書館統計	15
図書館地域開放のお知らせ	16



何のために学び、生きるのか

附属図書館長 本間 謙 二

現象学という20世紀を代表する哲学があります。この哲学は「意味」を問う哲学です。机とは何かと問われたら、「机とはものを書いたり、読んだりするときに使う台」と答えます。このとき私たちは「机」を「机という意味」に変えて理解している、というわけです。その証拠に、机を幾つか並べてその上に寝たら、そのとき机は寝台に変わることができます。つまり、机という意味から寝台という意味に変わったわけです。私たちが机を踏み台に変えたり、寝台に変えたりできるのも、それをいつも「意味」として理解しているからだと説明するわけです。これはなるほどと思わせる説明でして、私などすっかり納得してしまいます。特に、この説明のしかたは道具に対しては非常にうまく働くことができます。つまり、私たちがある一定の意図をもって作り出したものに対しては非常にうまく説明してくれます。先ほどの机にしてもマッチでもよろしいですから試みてください。マッチで耳の穴をほじるときにはマッチではなくて耳搔きに変身する。意味を変えるわけです。私たちは「意味」というものもっている「意味」をよくよく知っているのでしょうか。「意味」をもってすれば「そのものが何であるか」が非常に明瞭になる、というわけです。

さて、そうした仕方で行き向かっていきましょう。学ぶことの「意味」とは何であるか。「人生の意味」とは何であるか。20世紀の「意味好き」たち、「意義づけたがり屋」はいつもこのように問いかけてきます。きちんとした目的を持って学び、生きることはなるほど立派なことですし、とても必要なことです。漫然と学び生きている人と、明確な目的と意図を持って学び生きている人とでは、達成度が全く異なるでしょう。私たち教職員は学生諸君にいつも、そうした姿勢を

持つことを要求しています。それはそれでとても大切なことです。しかし、一方で、こうした生き方には、やはり一定の限界もあるように思われます。

ここで、目を転じてみます。花や木を見ていると一瞬の輝きを見せるために生きているようにも思われます。あるいは子孫を残すためなのかもしれませんし、人間として勝手な受け取り方をすれば、私たちを楽しませるために生きているともいえます。しかし、どれひとつとして「植物の生きる意味」を捉えきっているようには思われません。それを、動物たちに当てはめてみても、同じような感じをもたざるをえないでしょう。ひるがえって、私たちの生きる意味はどこにあるのでしょうか。何のために生きているのでしょうか。「何のため」と問われたら「何かのために、ある特定の目的のために」生きているのではないと、だれもが答えるのではないのでしょうか。元に戻って、「意味」とはいったい何なのでしょう。人々は何のために「意味づけ」を発明したのでしょうか。説明するためでしょうか。先に言ったように、意味は道具などの人工的なものの説明には大いに力を発揮してくれます。しかし、人生とか存在とか、丸ごとそのまま迫ってくるものに対しては、案外無力であるように思えます。意味づけをてんから拒むものがあって、存在の重さとしかいいえないものはその際たるものといえるのではないのでしょうか。意味づけを拒み、名指されることを拒むもの、人の一生を含めて、重たいものとはすべてそのようなものだと思います。学ぶということももしかしたら意味づけを拒むものの一つかもしれません。だからアリストテレスは、人は生まれながらにして知ることを欲する、といわざるを得なかったのかもしれないのです。

法人化後の図書館組織及び事務について

● 附属図書館組織

従来、附属図書館長は教授併任で置いていましたが、法人化後は、理事が兼務することとし、分館長を廃止して、館長を補佐する構成館長を新たに設け、附属図書館(札幌館・函館館・旭川館・釧路館・岩見沢館)を一体的に運営することができるようになりました。

● 事務系職員に係る組織・職名の変更等について

附属図書館及び分校にそれぞれの事務部が置かれていましたが、附属図書館事務部を「学術情報室」、分校事務部を「○○校室」として、事務局の組織の中の一つとしました。

事務処理体制においては、係を単位としたものから、係を2～3程度統合したグループ制を導入したほか、職員の職名については、これまでの補佐・専門員・専門職員・係長の職に相当する職を再編し、「総括主査」、「主査」、「専門職」としました。

なお、それぞれの事務組織が、附属図書館長、副学長(旧分校主事)、校長等の命を受け事務を処理する体制はこれまでと変わりません。

(学報 NO.477抜粋)

附属図書館にかかわる変更は以下のとおりです。

◎ 附属図書館事務部は学術情報室となりました。

係は廃止され、学術情報グループとなりました。利用者とのスムーズな対応を図るため便宜的に総務分野(庶務的業務)情報管理・システム分野(目録・図書館システム)情報サービス分野(閲覧・相互利用)の担当を配置しました。(札幌館)

◎ 各校図書係は各校室学術情報グループとなりました。(札幌館を除く各館)

◎ 全構成館の利用内規を統一しました。

従来、各館毎に利用内規を定めていましたが、附属図書館の一体的運用の方針に基づき全構成館の利用内規を統一しました。利用者は附属図書館の利用について構成館にかかわらず同じ条件でのサービスが受けられます。

(一部の構成館では、従来のサービス維持のため、利用内規を上廻るサービスを実施しています。)

I L L (図書館相互協力) について

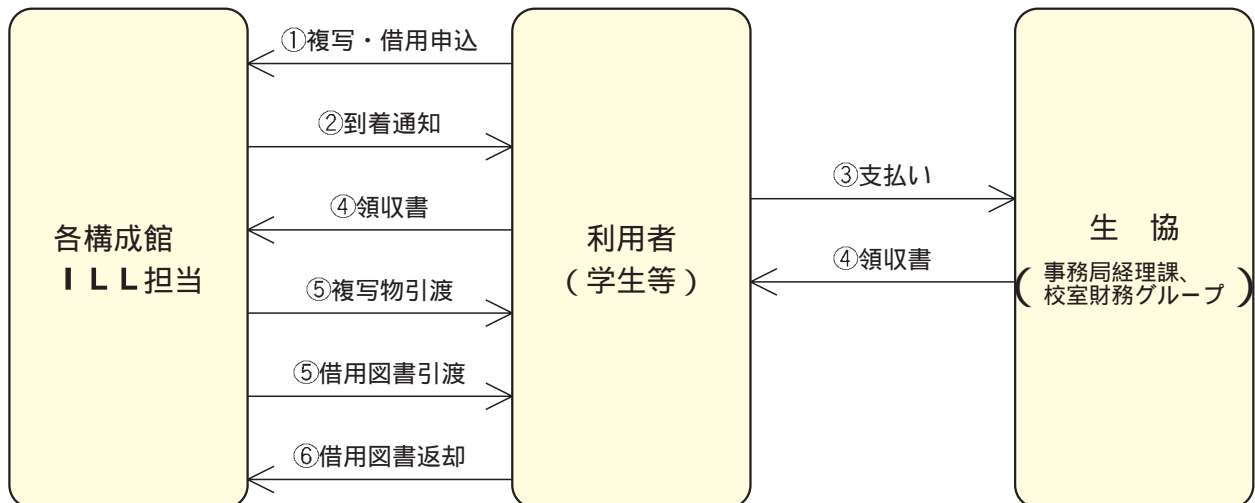
自館に無い資料の、図書の借用・文献の複写について図書館同士で協力するシステムです。本学の場合、学内者(教職員、学生等)と学外者、構成館間とそれ以外の図書館では取扱いが異なります。

◆学内利用者の取扱い◆

- 構成館間の文献複写：複写料金は1枚20円で郵送料は無料です。
- 構成館間以外(本学以外の大学図書館等)の文献複写
複写料金は依頼する図書館により異なります(1枚30円から60円程度)が、この料金に加え郵送料がかかります。
- 構成館間の図書の借用：郵送料は無料です。
- 構成館間以外(本学以外の大学図書館等)からの借用
借用にかかる手数料を課する図書館があります。この料金に加え郵送料がかかります。

◆私費扱いの場合の料金支払いについて◆

従前、事務局(室)の窓口で支払いをしていましたが、各キャンパスの生協に支払う方式に変更しました。



休業期間中の平日で生協の営業時間短縮の場合は事務局(各校室)財務・経理グループで支払いが可能です。

学外利用登録者の I L L について

構成館間の文献複写料金は1枚35円と郵送料がかかります。構成館以外の図書館から複写物を取り寄せる場合は依頼先によって異なります(1枚30円から60円程度)。また郵送料がかかります。さらに相手館によっては、手数料を課されることがあります。

構成館・他大学図書館等から図書を借用する場合はともに往復の郵送料がかかります。さらに相手館によっては、手数料を課されることがあります。

なお、詳細については各構成館にお問い合わせ下さい。

NACSIS-IR 利用ガイド

NACSIS-IR とは

国立情報学研究所が提供している総合データベースです。雑誌記事索引、学術雑誌目次速報データベース、学位論文データベースなど現在約40種類のデータベースを利用できます。

NACSIS-IR でできること

- ☆研究テーマについての現在までの論文は？
- ☆研究の最新動向は？
- ☆ある論文がどれだけ引用されたか調べたい
- ☆参考になる文献をなるべく早く入手したい

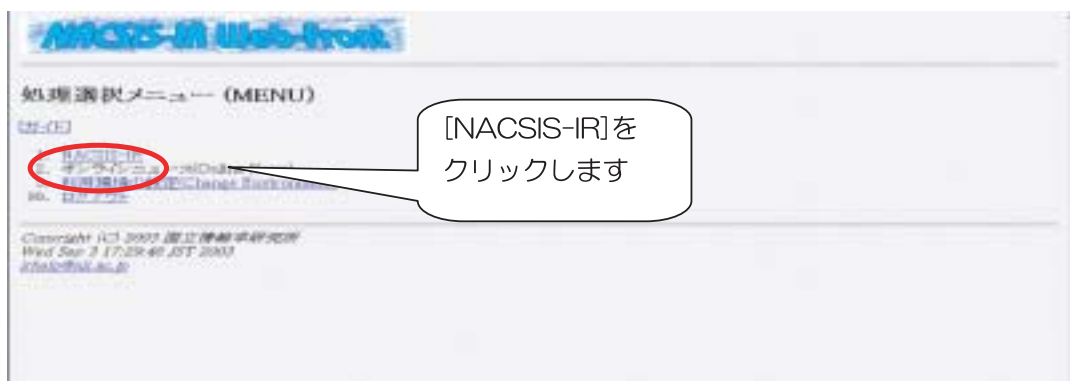
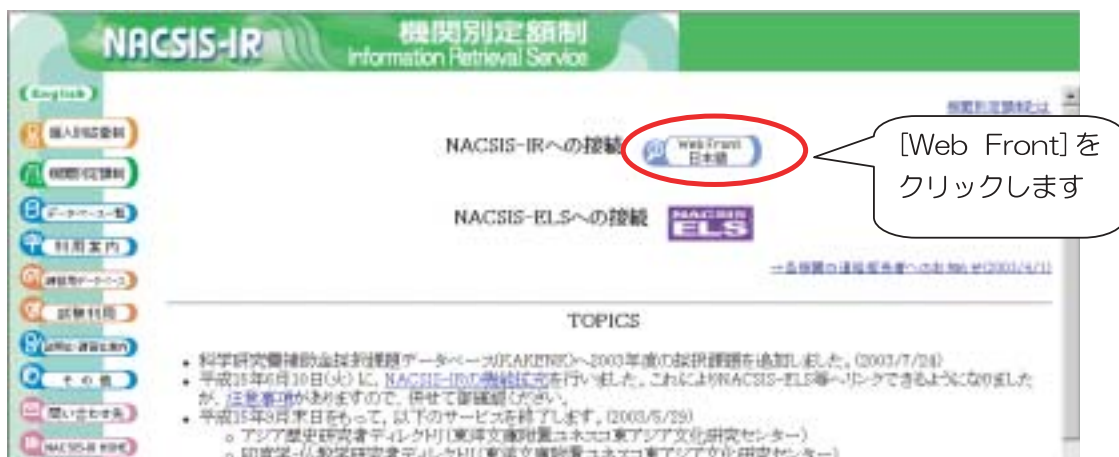
このような場合に必要とする情報を探しだすことができます。

NACSIS-IR の使い方

図書館ホームページあるいは図書館に設置してある利用者用パソコンのメニュー画面から NACSIS-IR のページにお入りください。

機関別定額制の契約をしてますので、大学内の LAN に接続されたパソコンならどこからでも無料で利用できます。

機関別定額制 NACSIS-IR のページです。



データベース選択します。

データベース選択

検索条件: [検索語] 範囲: [レコード全体]

ID	データベース名	データ件数	更新日付
<input type="checkbox"/>	1 科学研究費補助金研究データベース [KAKEN] (1988 -) COPYRIGHT 国立情報学研究所	473,148	2003-04-12
<input type="checkbox"/>	2 学術論文索引データベース [JAKUI] (1987 -) COPYRIGHT 国立情報学研究所	253,636	2003-08-19
<input type="checkbox"/>	3 異国語研究情報データベース [JOSTI] (1984 -) COPYRIGHT 国立情報学研究所	14,334	2003-05-29
<input type="checkbox"/>	9 経済学論文索引データベース [KEISAI] (1971 - 2002) COPYRIGHT 経済学資料センター及び国立情報学研究所	214,493	2003-04-09
<input checked="" type="checkbox"/>	12 学術雑誌目録データベース [SOKIHO] (-) COPYRIGHT 国立情報学研究所	433,256	2003-09-03
<input type="checkbox"/>	13 科学研究費補助金研究課題データベース [KAKENKI] (1996 -) COPYRIGHT 国立情報学研究所	314,139	2003-08-23
<input type="checkbox"/>	14 学術文献索引データベース [JLPI] (1992 -) COPYRIGHT 国立情報学研究所	417,894	2003-08-12
<input checked="" type="checkbox"/>	20 雑誌記事索引データベース INDLPI / ZASSAKUI (1948 -) COPYRIGHT 国立情報学研究所	5,336,471	2003-08-29

簡単検索画面になります。

簡単検索

データベース情報
SOKIHO INDLPI

検索条件: [検索語] 範囲: [レコード全体]

Copyright (C) 2003 国立情報学研究所
Wed Sep 3 17:40:23 JST 2003
info@nii.ac.jp

複合検索画面ではいろいろな検索条件を指定できます。

複数のフィールドに検索語を入れることができます。

[AND][OR][NOT]の選択ができます。

[すべてを含む][どれか含む][順番に隣接][隣接する]の選択ができます。

[検索実行]をクリックまたは[Enter]します。
一覧表示になります。

検索条件と各データベースでのヒット件数が表示されます。
*データベース毎に同じ論文が入っている可能性があります。

検索コマンド: FIND (T="保健室") and (REC="不登校" or "登校") and (Y="200*" or "1999")
検索集合NO: [6] TOTAL/36件(0件) KAKEN/1件 SOKUHO/5件 CJP/0件(0件) NDLPJ/28件 KASEI/1件

検索条件: AND 範囲: [レコード全体]

表示限定指定: KAKEN SOKUHO CJP NDLPJ KASEI

表示モード: [簡易] (詳細) (ON) (OFF) (アップロード) (サブMIT)

スクロール

COPYRIGHT 日本家政学会
[] KASEI 0000163441 //2000180078 //●保健室●登校をしている子

COPYRIGHT 国立国会図書館
[] NDLPJ 0510590700 //看護教諭が行う●保健室●登校の実態とこれへの認識 //清根 芳子 (ZASSAKU)

[] NDLPJ 0506596804 //●保健室●登校の生徒の苦しみ寄り添うとは(特集 事例をふりかえる)カウチング

1件ずつ詳細表示させるときは、番号ボタンをクリックします。複数論文を詳細表示させたいときは、チェックボックスをチェックしてから[チェックしたレコードを詳細表示します]をクリックします。

詳細表示になります。

The screenshot shows a detailed record page on NACSIS Webcat. A callout box explains the following fields:

- [KASE]: データベース名
- TITL: 論文名
- AUTH: 論文執筆者
- CITN: 掲載雑誌名
- VOLN: 巻号
- PAGE: 掲載ページ
- YEAR: 出版年

Another callout box points to the NCID field (highlighted with a red circle in the original image) and explains: NCID: NACSIS-CAT の書誌 ID です。クリックすると別ウィンドウで NACSIS Webcat が表示され、所蔵大学を検索することができます。

所蔵検索

The screenshot shows search results for a specific journal issue. A callout box lists the libraries where the issue is held:

- 北教大・・・札幌館
- 北教大函・・・函館館
- 北教大旭・・・旭川館
- 北教大釧・・・釧路館
- 北教大岩・・・岩見沢館
- 各館のところでこの巻号の所蔵を確認します。所在場所の確認はOPACでします。

*当館に所蔵していない資料の論文取り寄せはカウンターにお申し込みください。

必ず、[終了][ログアウト]をしてからウィンドウを閉じてください。

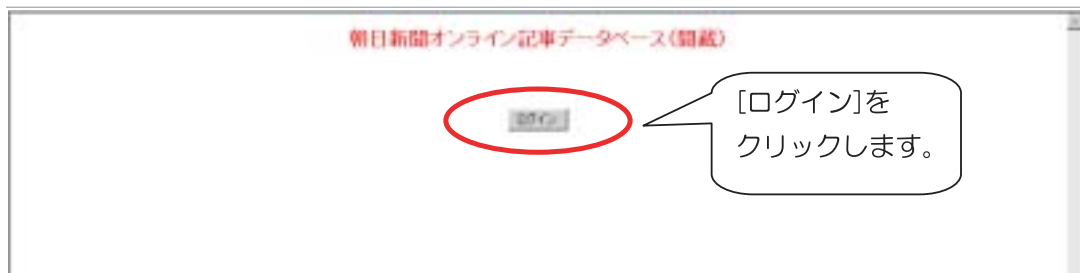
朝日新聞オンライン記事データベース 「聞蔵 (きくぞう)」 利用ガイド

聞蔵の特徴

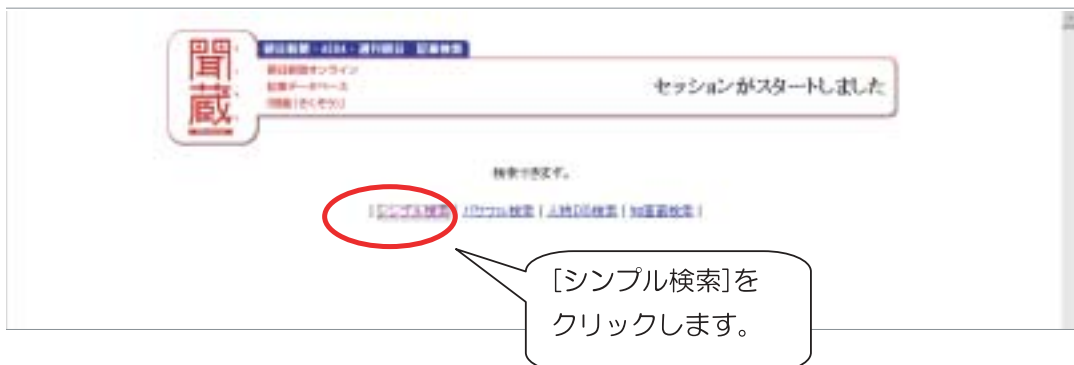
1. 1984年8月以降の約400万件の記事を検索できます。
2. 各都道府県の県庁所在地をカバーする地方版も収録されているので、全国のニュースを検索できます (沖縄を除く)。
3. その日の朝刊に掲載された記事も検索できます。
4. 「全文検索方式」が採用されているので、すべての記事中の言葉を探すことができます。
5. 朝日新聞だけでなく、週刊朝日 (2000年4月～)、AERA (1988年5月～) の記事も検索の対象となっています。

聞蔵の使い方

図書館ホームページあるいは図書館に設置してある利用者用パソコンのメニュー画面からお入りください。大学内の LAN に接続されたパソコンならどこからでも利用できます。



シンプル検索、パワフル検索、知恵蔵検索を選ぶことができます。
(人物 DB 検索は現在のところ利用できません)

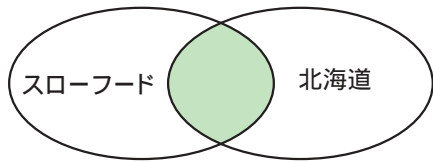


シンプル検索画面になります。



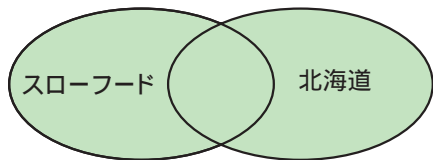
キーワード入力枠の右の▼をクリックすると、AND 検索、OR 検索、NOT 検索を選ぶことができます。

AND 検索：すべてのキーワードを含む記事を検索します。



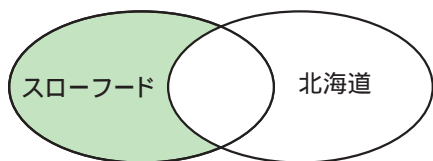
例)「スローフード」と「北海道」の両方を含む記事が検索されます。

OR 検索：いずれかのキーワードを含む記事を検索します。



例)「スローフード」と「北海道」のどちらかを含む記事が検索されます。

NOT 検索：NOT の後のキーワードは含まない記事を検索します。



例)「スローフード」を含む記事から「北海道」の記事を除いた記事が検索されます。

検索結果が表示されます。

検索結果が表示されます。

検索結果: 23件 表示: 1~23

1. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
「食」で知「未来」女性99歳編年 札幌でスタート 北海道

2. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
社中調任10 「勤務先」の異動が「たのしみ」 北海道

3. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
道庁職員が「2004年4月」に任命

4. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
4人の編成 北海道

5. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
札幌新聞大賞 第11回 表彰 賞状授与式 北海道

6. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
札幌新聞 第11回 賞状授与式 北海道

7. 2004年11月10日 朝日 北海道 005 00000000
道庁職員が任命 北海道

北海道

【北海道】・・・北海道支社版のみに掲載された記事の意味します。

読みたい記事をクリックすると本文が表示されます。

知恵蔵の使い方

朝日新聞社発行『朝日現代用語事典 知恵蔵2004』のオンライン版です。

国際関係、政治、社会、経済、産業、サイエンス、テクノロジー、文化・芸術、生活、スポーツの10部門の用語が解説されています。

検索したい言葉を入力します。

AND 検索、OR 検索、NOT 検索が選べます。

国際関係、政治、社会、経済、産業、サイエンス、テクノロジー、文化・芸術、生活、スポーツの分野に絞り込むことができます。

検索語を入力したらクリックします。

検索結果が表示されます。



<>に挟まれた部分は、[大項目]-[中項目]の順になっています。[大項目]は検索画面の「部門・分野」の項目と同じです。[中項目]はさらに細分化した項目です。

検索を終了するときは必ず [ログアウト] してください。



情報リテラシー教育に向かって一旭川館の取り組み

佐々木 周
(旭川校・助教授)

日本図書館協会 (JLA) 利用教育委員会のビデオ『図書館の達人』(1992-93)は、驚愕であった。その第6巻「レポート・論文のまとめ方」を分館職員全員で見て、論文の仕上げ方を丁寧にガイドする场景に、誰もが「ここまでやらなくてはいけないのか!」と感じた。93年JLA「図書館利用教育のガイドライン」素案が公表され、その「大学図書館版」第2次案は96年6月「図書館雑誌」に発表された。そのタイトルは、「図書館利用教育を全学生の必修に! カリキュラムに組み込んでいくための実績づくり」というものだった。

それから約10年、「実績づくり」はどこまできたらうか。附属図書館の中期目標はその最初の項目を「利用者支援サービスの充実」にあて、その具体的な内容として、中期計画の最初の項は「情報リテラシー教育」をとりあげている。「図書館の利用ガイダンスと情報リテラシー教育を統合した総合的な利用者教育プログラム」の開発が目標である。この目標に向かって、今後どんな問題があるだろうか。

旭川館では、それまで随時に要請に従って行ってきた利用者教育を整備し、2002年、新入生を対象にした利用ガイダンスを「図書館ツアー」、資料や雑誌記事の検索方法を中心にしたオーダーメイドの情報リテラシー教育を「情報検索ガイダンス」とし、その後常時申し込みを(メールでも!)受け付けるようにした。また、教育職員免許法「情報機器の操作」に該当する教養科目「コンピュータ・リテラシー演習」に対しても、その科目発足当初から図書館職員がかかわり、資料の提供や実習指導などを行ってきた。シラバスにも「インターネットの利用(OPAC、NACSIS-IRなど)」と明記されており、今年度前期も担当教員から依頼を受け、実習を行っている。これらの講習への参加人数は、統計を取り始めた2002年度で計203人だっ

たが、今年度は7月末ですでに448人に達している。

旭川校では既に1987年、ネットワークを介してJPMARCを検索するデモンストレーションを教員有志に行っている。一部の教員だけの利用だった当時から「全学生の必修」にまで、次第に利用を拡げていけたポイントは、次の3点であろう。

- 1 アクセス環境が飛躍的に良くなった
- 2 魅力的なデータが次々と公開された
- 3 コンピュータ・リテラシーが普及した

これらのポイントはそのまま、学生が情報リテラシーを身につけていく上で、今後も課題である、と思う。アクセス環境の向上、OPAC 遡及入力など資料の整備、コンピュータ利用技術の普及、これらはまた、専門職として図書館職員が「日常業務」としていることのかなたに、なめらかにつながっているものである、ととらえたい。

さらに、図書館の「情報リテラシー教育」は、「動機づけから発信まで」を導く最広義の「リテラシー教育」の一部であるだろう。検索したいことがある、それを利用して考えたい、ということがなければ、技術を教えようにも伝わるものがない。図書館職員の教育への「参加」は、日常業務の延長線上のものへの目配りとともにある。

JLA「図書館利用教育ガイドライン—大学図書館版—」(98年4月)は、激論の末、「現状のさまざまな実践上の困難にとらわれず、あるべき理想のイメージの全体像を提示する」という方針をとった。2002年、新シリーズ「新・図書館の達人」第6巻「レポート・論文作成法」のビデオが発売された。以前のものとさほど大きく変わったわけではないのに、今でも驚愕である。「あるべき理想のイメージ」の前には、「さまざまな実践上の困難」が依然として山積しているのである。

(ささき めぐる)

附属図書館からのお知らせ

全 館

- ・ 6月1日から大学図書館相互利用サービスに加入しました。加盟館の利用規程に基づき利用できます。加盟館の利用については紹介状は必要ありません。詳細は各館のホームページをご覧ください。
- ・ 組織変更によりホームページの構成を変更しました。
トップページの附属図書館（全館共通）から、OPAC・図書館概要・図書館報等の利用ができます。

札 幌 館

- ・ ホームページの構成を変更しましたので札幌館に直接するアクセス場合は、下記アドレスをお願いします。
<http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/top.html>
- ・ 自動貸出装置を導入しました。使用方法については装置の前に掲示していますので活用してください。返却はカウンターへお願いします。

旭 川 館

- ・ 3階閲覧室にOPAC専用機を設置しました。
図書館3階の閲覧室にOPAC専用機を2台設置しました。どうぞご利用ください。
- ・ 図書館の様様替えについて
雑誌架や端末などを移動し、利用しやすくしました。

釧 路 館

- ・ 釧路館ホームページをリニューアルしました。
アドレス <http://www2.kus.hokkyodai.ac.jp/users/library/index.html>
- ・ 携帯電話版ホームページで開館日程、お知らせ、所蔵検索を公開しました。
アドレス <http://www2.kus.hokkyodai.ac.jp/userslibrary/keitai/top.html>

岩 見 沢 館

- ・ 職員手作りの壁新聞と図書館ノートができました。
壁新聞はお薦めの本、貸出ランキング、図書館・HPのお知らせなど盛り沢山の内容となっています。テーブルの上に置いてありますノートには、図書館に対する要望・意見等を書いていただいています。
- ・ 常設展示コーナーを設置しました。
図書館所蔵の副読本と、教科書（往来物から戦後まで）を毎月交互に展示しています。

附属図書館利用統計

平成16年4月1日現在

項 目		全 館	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館
開 館 日 数 (日)			337	322	279	310	335
内 訳	開 館 日 数 (平日)		241	235	234	237	241
	開 館 日 数 (休日)		96	87	45	73	94
入 館 者 数 (人)		449,113	121,158	84,058	108,409	73,580	61,908
内 訳	入 館 者 数 (学内)	437,416	119,221	80,598	104,229	72,797	60,571
	入 館 者 数 (学外)	11,697	1,937	3,460	4,180	783	1,337
貸 出 冊 数 (冊)		90,676	21,790	29,182	13,858	15,940	9,906
相 互 利 用	文献複写(受付) (件)	5,997	2,488	1,218	1,165	686	440
	文献複写(依頼) (件)	6,114	1,320	2,471	1,110	763	450
	図書貸借(貸出) (冊)	3,325	958	690	704	459	514
	図書貸借(借用) (冊)	3,032	747	887	723	395	280

附属図書館所蔵統計

平成16年4月1日現在

項 目		全 館	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館
所 蔵 数 (冊)		988,763	242,372	235,444	190,745	171,906	148,296
内 訳	和 書	860,768	209,370	203,886	163,480	152,040	131,992
	洋 書	127,995	33,002	31,558	27,265	19,866	16,304
分 類 別 内 訳	総 記 (和書)	103,679	33,662	28,042	19,613	16,140	6,222
	総 記 (洋書)	16,567	3,361	1,661	6,006	4,504	1,035
	哲 学 (和書)	58,138	13,068	13,728	11,582	10,325	9,435
	哲 学 (洋書)	14,105	3,508	3,461	3,383	2,093	1,660
	歴 史 (和書)	86,904	21,435	19,411	15,289	17,864	12,905
	歴 史 (洋書)	8,308	2,067	1,653	1,923	1,509	1,156
	社 会 (和書)	259,174	62,206	59,251	49,168	42,239	46,310
	社 会 (洋書)	25,578	8,720	6,183	4,509	3,588	2,578
	自 然 (和書)	96,832	22,427	19,241	21,615	17,416	16,133
	自 然 (洋書)	20,142	4,016	6,760	4,608	1,931	2,827
	工 学 (和書)	29,789	6,817	8,271	4,813	5,241	4,647
	工 学 (洋書)	1,998	785	443	418	261	91
	産 業 (和書)	23,431	5,937	5,637	4,121	3,502	4,234
	産 業 (洋書)	1,498	474	386	399	112	127
	芸 術 (和書)	58,023	12,438	13,124	12,032	9,815	10,614
	芸 術 (洋書)	6,301	2,405	1,052	782	564	1,498
	語 学 (和書)	33,677	7,954	8,369	6,022	5,859	5,473
	語 学 (洋書)	13,296	3,363	4,069	2,220	1,681	1,963
文 学 (和書)	111,121	23,426	28,812	19,225	23,639	16,019	
文 学 (洋書)	20,202	4,303	5,890	3,017	3,623	3,369	

図書館地域開放のお知らせ

一般市民・公共図書館のみなさんへ

北海道教育大学附属図書館では本学所属の教職員・学生だけでなく、一般市民にも図書館を開放し、図書の閲覧・貸出・複写サービスをおこなっております。利用の希望がありましたらどうぞお気軽に来館ください。

また、図書館間相互協力として文献複写・現物貸借サービスもおこなっておりますので、お近くの公共図書館等をととして当館の資料を取り寄せることができます(コピー・現物いずれも可能です)。

【来館利用】

開館時間	月～金 8:30～22:00(岩見沢館21:00まで) 土・日・祝 10:00～17:00
利用手続	図書の貸出を希望する場合には「図書館利用証」を発行しますので運転免許証や学生証等をご持参のうえカウンターにお申し出ください。
貸出冊数と期間	5冊、2週間まで
複写	館内資料の複写ができます(セルフ・プリペイドカード式)。

【図書館間相互利用(公共図書館ご担当へ)】

文献複写	複写料(1枚35円)+郵送料がかかります。 料金は郵便振替によるお支払いとなります。
現物貸借	往復の郵送料(簡易書留)をご負担ください。 往路分は着払いとなります。
申込方法	FAXまたは郵便。書式自由(貴館でお使いの書式で結構です)。

【北海道教育大学附属図書館構成館】

館名	住所	TEL	FAX
札幌館	札幌市北区あいの里5-3-1	011-778-0288	011-778-7052
函館館	函館市八幡町1-2	0138-44-4231	0138-44-4381
旭川館	旭川市北門町9	0166-59-1235	0166-59-1244
釧路館	釧路市城山1-15-55	0154-44-3243	0154-44-3244
岩見沢館	岩見沢市緑が丘2-34-1	0126-32-0240	0126-32-0253

みなさんの調査・研究・学習の役に立ちたいと考えています。

資料の貸出だけでなく調査等のお手伝いもしますので、どうぞご利用ください。